



つきがね

山辺大好き 学校大好き 友だち大好き (自分大好きをベースに)

令和6年度 第6号
R6.10.30
山辺町立山辺小学校
校長 鈴木 義彦

“山辺の小学校児童650名”が伝える町への思い

◆ 10月14日(月)、山辺町町制施行70周年記念イベントに全校で参加してきました。「30年後、山辺町が100周年を迎えるとき、ぼくたちは大人になっています。たくさんの方のことを、見て、聞いて、考えて、大好きな山辺町を笑顔あふれる町にしていきたいです。山辺町の未来は、ぼくたちにまかせてください！」の呼びかけとともに、山辺小と相模小、両校で650名の子どもたちの歌声が会場に響きわたりました。来場者からは、大きな拍手とともにたくさんのお褒めの言葉をいただきました。その後、様々なイベントブースを見学、体験、買い物などをし、地域の方々との触れ合いを深めました。会場全体が大人も子どもも笑顔にあふれていました。年度途中の教育課程変更によりご負担をおかけしましたが、またとない貴重な学習の場となりました。ありがとうございました。



前期終業式(10月10日) 児童代表あいさつ

*紙面の都合上、ひらがなを漢字に変換しています。
*全文を紹介したく、文字の大きさが小さくなってしまいました。ご容赦ください。

◆『1年生になってがんばったこと』 1年2組 長澤煌隼 さん

ぼくは、算数のお勉強をがんばりました。引き算のやり方がわからないところがありました。ブロックを使ったり、絵を見たりして、だんだんやり方がわかるようになって、引き算の計算ができるようになりました。

今は、計算カードで足し算と引き算を毎日しています。お父さんやお母さんに、時間を測ってもらいながらやっています。引き算カードのときは、足し算のときよりも遅いけど、1分10秒ぐらいでできるようになりました。算数がとても楽しくなりました。

これからも、計算カードを続けてやっていきたいと思います。算数の新しいお勉強でも、あきらめないでがんばりたいです。

◆『前期がんばったこと』 3年1組 武田舟花 さん

今年もクラス替えがありました。メンバーを見たときに、1年生の時と同じクラスの人が結構いて安心しました。教室に入ったら、3年生でもいっしょにがんばれそうだなと思いました。

私が前期がんばったことは、運動です。特にがんばったことが三つあります。

一つ目は運動会です。二人三脚は練習では4位や3位でした。私はゆなちゃんでしたが、最初は転びかけたりつまずいたりしていました。そこで、どっちの足から出すか決めたり「1、2、1、2」と声を出したりして練習しました。運動会当日は、二人三脚で2位をとることができました。一人一人が協力して、みんなの気持ちが一つになったからだと思いました。

二つ目は水泳です。私は水泳が得意ではありません。目標は5メートルです。水の中で長く息を止めることはできませんが、壁を蹴るタイミングが上手くいかず目標達成はできませんでした。それでも楽しく泳げたので、来年こそは目標を達成したいです。

三つ目は体育でやったポートボールです。ポートボールの準備運動でとりかごをして対戦をしました。声を掛け合いながらパスやシュートができるようになりました。りょうまくんのガードがすごかったり、はるとくんが声を掛けてくれたりして、私もその声で、いいパスを出すことができました。シュートもできました。ゴールマンのゆきなちゃんがキャッチしてくれてうれしかったです。

その他、詩の暗記などががんばってきました。後期は、地図記号を覚えるなど、いろいろな学習をがんばってきたいです。

◆『ぼくの山あり谷ありの前期』 5年3組 尾形楓真 さん

ぼくの前期を一言で振り返ると、「いろいろ大変だった。」です。高学年になり、やるが増えて、とにかく忙しい4カ月間でした。でも、いろいろな経験をして、成長できたことがたくさんありました。

4月、クラス替えがありました。仲が良い友達があまりいなくて、正直不安な気持ちでした。でも、ロング昼休みにみんなで誘い合ってバスケットをしたのがきっかけで、仲が深まっていきました。これまであまり話をしたことがない人も、話してみると面白くて気が合いました。授業中に積極的に意見を発表する人がいて、すごいなあ、まねしたいなあと感じています。これからも、友達みんなの良いところを見つけて、仲良く高め合っていきたいと思います。

5月の運動会。ぼくは、赤組の応援団員に立候補しました。少し迷いもありました。でも、去年、赤組が優勝も応援賞も白組に取られてしまった時に、6年生の応援団員がすごく悔しがっていたことを思い出しました。「今年は僕がみんなを勝利に導きたい」と思い、立候補を決めました。

応援団の練習は大変でした。毎日の声出しでのどがかれていきました。声を出しながら振り付けをするのも難しく、覚えるのに時間がかかりました。応援練習が始まったばかりのころは、みんながなかなかまとまらず、指示をしているのに、うまく通らないことが多くありました。「もっと分かりやすく指示をしよう。」「堂々と大きな声で話そう。」応援団みんなで対策を話し合い、実践すると、だんだんと練習もうまくいくようになりました。

当日は、みんなも気合が入っていて、応援団の声に「オー！」と応えてくれました。最高に楽しかったです。W優勝を取ることができ、これまでのがんばりが報われたと感じてとてもうれしかったです。この経験を通して自分に自信を持って声を出ることができるようになりました。

他にも、宿泊野外学習やバスケットの強化練習、毎週のミニテストに向けた取り組みなど、自分の成長を感じられることがたくさんありました。充実した前期だったと思います。来年度、僕は最高学年になります。後期は、6年生になる準備を始めなければいけません。勉強も運動もできる、リーダーシップでみんなをまとめる存在が僕の理想です。理想に近づくために、具体的にどうしていったらいいのか考えていきたいと思っています。

後期始業式(10月15日) 児童代表あいさつ

◆『後期にがんばること』 2年2組 辻 勇 さん

僕が後期で頑張りたいことは、三つあります。

一つ目は、かけ算をきちんと覚えることです。かけ算は、大人になっても使う大切な勉強です。かけ算を暗記できるように、計算カードで毎日練習したいと思います。

二つ目は、縄跳びです。1年生の時に、二重跳びまでできるようになりました。後期では、二重交差跳びに挑戦して、たくさん跳べるようになりたいです。

三つ目は、あいさつです。朝、学校に来ると、高学年のお兄さん、お姉さんが、「おはようございます。」と明るく声をかけてくれます。僕も、みんなが気持ちよくなれるように、明るく元気なあいさつをします。

この三つのことをがんばって、楽しい後期にしたいです。

◆『後期でがんばりたいこと』 4年1組 明日紗希 さん

私が後期でがんばりたいことは、学習と友達関係です。なぜがんばりたいのかというと、学習は今の学年になってさらに難しくなり、これからは難しい問題などをよく理解して解けるようにしたいです。友達関係を深めてきましたが、同じ学年の人だけでなく、違う学年の人とも交流しながら関係を深められたらいいなと思いました。その他にも、積極的に発表したり、全体の前に立って全体を引っ張っていきけるようなことをがんばりたいです。例えば、授業の時に意見を手を挙げて言ったり、大人数の時に大きな声を出して全員に聞こえるように言ったりと、みんなの前で活躍したいです。私は、来年の4月から6年生を支える5年生となれるか少し心配ですが、後期の今からの6カ月間で次の学年になる準備の期間だと私は思っています。この後期で最後には、かっこよく4年生を終わって5年生を迎えられたらいいなと思いました。

◆『中学生に向けて後期挑戦すること』 6年2組 佐藤 蘭 さん

私は、後期でがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、学習です。前期では自主勉強を1ページびっしり書き、今までよりも勉強量を増やすことをがんばりました。しかし、後期の勉強は前期よりもさらに難しくなります。そこで、私は後期では前期で取り組んできたことを続けながら、もう一つがんばっていきたいことがあります。それは、宿題が終わってもプラスアルファでドリルや自主勉強に取り組むことです。宿題だけだと漢字や計算に偏ってしまうので、社会や理科などにも取り組み、1日の中で幅広い勉強をしていきたいです。復習に力を入れて、後期の学習にもついていけるようにしていきたいです。

後期でがんばっていききたいことの二つ目は、挑戦することです。私は、これまであまり何かにチャレンジする場面がありませんでした。しかし、私は学びの旅の班長に立候補し、班長になりました。今年の学びの旅のスローガンに「一致団結」という言葉が入っています。学びの旅の準備では、班の編成を考えたり、上野公園での班別研修の計画を立てたりしています。また、当日も班のみんなと行動する場面がたくさんあります。一人ではできなかったことも、班がまとまることでできるようになることもあります。そのために、班長としてみんなの意見を聞いたり、声掛けをしたりして協力できる班にしていきたいと思っています。チャレンジすることは勇気のいることですが、挑戦し続ける後期にしていきたいです。後期には学びの旅だけではなく、学習発表会や卒業に向けた取り組みなど行事がたくさんあります。一つ一つの行事が小学校最後になるので、悔いの残らぬよう取り組んでいきたいと思っています。

あと半年後には中学生になります。中学校に行くと勉強や部活が始まり、今までより忙しくなると思います。そのため、後期は中学生に向けて学習する習慣や挑戦することを意識して、残りの小学校生活を全力で楽しみます。